

専門学校と地域HP作成

美郷町 比之宮地区 空き家情報など提供

美郷町比之宮地区の住民たちが県内2専門学校と連携し、U・Iターン者を呼び込むホームページ(HP)づくりを進めている。両校の教材や課外活動のテーマに無償で取り上げてもらい、高齢者が多い地元住民で更新が続けられる活動を目指す。空き家情報や子ども記者のブログで、地域の魅力を発信する。(黒田健太郎)

U・Iターン者呼び込め

HPのデザインを担う2人が22、23日、地区の島根デザイン専門学校で取材。地元農事組合(奥出雲町)の学生や法人や蟠龍峽を訪れ



比之宮地区の農事組合法人作業場でミニトマトのパック詰めを取材する専門学校生

た。2年中本昌樹さん(19)は「比之宮は気さくな人が多い。地区のぬくもりを伝えたい」と意気込む。同校とプログラムを担う出雲コンピュータ専門学校(出雲市)、比之宮で地域おこし活動を進める町嘱託職員2人で準備。来年1月の公開を目指す。

空き家情報では、問い合わせ先や補助制度を分かりやすく紹介。持ち主を探して売却、賃貸の意思があるかどうかの調査も進める。ブログは町内の児童7人が地区の出来事を伝える。

比之宮地区は8月末で人口284人。合併



で美郷町が誕生した2004年10月(349人)に比べて18%減少。65歳以上は5割を超えた。U・Iターン者の募集は町任せで、高

齢化が進む中、独自の活動が必要と判断した。HP制作を5月に決定。町内の学校で不要になったパソコン19台などを無償で借りた。町嘱託職員の内山伸昭さんは「永続的な取り組みにして、住民や出身者が郷土愛を持つ契機にもしたい」としている。